


津波被災の宮城・大川小めぐる映画2作品上映 高崎市

角津栄一 2023年9月1日 10時45分




「春をかさねて」。中学生2人がスクールバスで寄り添っている(C)Sonomi Sato 



ーク」代表の只野哲也さんによるトークもある。

上映作品は「春をかさねて」(45分)。震災直後の石巻市大川地区が舞台で、地元住民がキャストやエキストラを務めている。妹を亡くした幼なじみの女子中学生2人の震災後の日々を描く。

ドキュメンタリー「あなたの瞳に話せたら」(29分)は、震災から8年が過ぎた19年、大川小で友人や家族を亡くした人たちにカメラを向けた。あれから何を感じ、どのように生きてきたのか。それぞれが故人に宛てた手紙を織り交ぜながら語る。

両日とも午後2時から上映が始まり、トークは午後3時半から。入場料1千円(全席自由)。問い合わせは実行委員会(090・4386・8961)、メールは、voice@po1.kannet.ne.jp 。(角津栄一)

2011年3月の東日本大震災による津波で、児童74人が犠牲となった宮城県石巻市の大川小学校。この惨事で妹を亡くした映像作家佐藤そのみさん(27)が、故郷と災害をテーマに制作した映画2作品が9月2、3日、高崎電気館(群馬県高崎市)で上映される。

映画は、イベント「ある春のための上映会in高崎 宮城県石巻市大川をめぐる2本立て」で上映される。佐藤監督と、大川小卒業生で「Team大川 未来を拓くネットワ